

# 荏原病院産婦人科新型コロナウイルス Q&A

## 【妊婦さんご本人について】

### Q1：妊婦の感染予防はどんなことをしたらよいですか？

一般的な感染予防をおこなってください。

3密を避け、手洗い、手指消毒、マスク着用を徹底してください。

また、不要不急の外出を避けることも大切です。

### Q2：妊婦は予防接種を受けたほうがよいですか？

新型コロナウイルスワクチンは、妊婦に対して短期的安全性を示す情報が出つつあります。

長期的な副反応や、胎児および出生児への安全性に関しては不明ですが、現時点では、世界的に接種のメリットがリスクを上回ると考えられています。

接種の時期は、妊娠中を通していつでも大丈夫と言われています。

肥満や糖尿病の持病がある妊婦さんは、重症化しやすいリスクがあるため、積極的に接種を考えてみてください。

### Q3：家族が感染してしまいました。どうしたらよいですか？

新型コロナウイルス感染は、家庭内感染が多いとされています。

妊婦さんが感染することがないように、家庭内で濃厚接触者の方を隔離していただき、接触を最小限にとどめましょう。

家庭内でもマスクは着用してください。

### Q4：妊婦が新型コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすいですか？

妊娠中に新型コロナウイルスに感染しても、基礎疾患を持たない場合、その経過は同年代の妊娠していない女性と変わらないとされています。ただし、新型コロナウイルスに限らず、妊婦が呼吸器感染症にかかった場合には、妊娠していない時に比べ、特に妊娠後期において重症化する可能性があります。高齢での妊娠、肥満、高血圧、糖尿病などが新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク因子であるという報告もあり、このような背景を持つ妊婦の方は、特に感染予防に注意してください。

## 【赤ちゃんへの影響について】

### Q1: 妊娠中に母親が新型コロナウイルスに感染した場合、胎児にどのような影響がありますか？

子宮内で胎児が感染したことを示唆する報告も少数ながら存在しますが、新型コロナウイルスに感染した妊婦から胎児への感染はまれだと考えられています。

また、妊娠初期または中期に新型コロナウイルスに感染した場合に、ウイルスが原因で胎児に先天異常が引き起こされる可能性は低いとされています。

米国では妊娠中に妊婦が新型コロナウイルスに感染した場合、非感染の妊婦と比較して、早産になりやすいという報告もあります。

我が国でも、新型コロナウイルス感染症の母子への影響を把握するため、新型コロナウイルス感染症に罹患した妊産婦や小児の罹患状況などの調査研究を行っています（令和2年度厚生労働科学特別研究事業）。

### Q2: 母親が新型コロナウイルスに感染した場合、母乳や授乳を介して乳児が感染することはありますか？

母乳を介して新型コロナウイルスが乳児に感染するリスクは低いと考えられています。しかし、母乳中に検出されたとする報告もあります。また、授乳時には、接触・飛まつ感染のリスクがあります。従って母乳栄養を希望される際は、母乳を介した感染や接触・飛沫感染のリスクについて、ご家族や医療機関の医師等と十分に相談の上、授乳方法や時期をご判断ください。

授乳に関しては、以下の方法があります。

1. 直接母乳：授乳前の確実な手洗いと消毒、マスクを着用して直接授乳をする。
2. 搾乳：確実な手洗い、消毒後に搾乳をし、感染していない介護者による授乳を行う。  
（1. より接触・飛まつ感染のリスクが低く、あとで直接母乳に戻りやすい利点がある）
3. 人工栄養：（母乳の利点と授乳のリスクを説明した上で）人工乳を授乳する。

### Q3: 新生児が新型コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすいですか？

新生児が新型コロナウイルスに感染した事例が少なく、他の様々な要因により状態の変化が起こりえるので、一概に判断できませんが、重症化するのはいずれだとされています。海外では、先天性心疾患など基礎疾患のある新生児が新型コロナウイルスに感染し、重症化した事例が少数ながら報告されていますが、殆どの児は回復しております。

## 【荏原病院について】

### Q1: 妊婦健診は通常通り実施していますか？

妊婦健診には、妊婦さんの健康状態、妊娠週数等によって推奨される受診間隔があります。現在、荏原病院では通常通り妊婦健診を実施しています。妊婦健診は、妊婦と胎児の健康のために非常に重要です。自分で判断せず、産婦人科医の指示に従って受診してください。

### Q2: 妊婦健診や産後の健診に、子供や夫を連れて行ってもいいですか？

妊婦や胎児の命を守ることは、社会にとって非常に重要なことです。現在、夫またはパートナーの同伴をしていただけます。診察時に内診台に上がったり、エコーの検査を行ったりするため、お子さん連れはご遠慮いただいています。病院には、多くの妊婦さんや他の科を受診する患者さんが集まります。従って、病院の中の患者さん同士で新型コロナウイルスの感染が広がってしまう、ということをご極力避ける必要があります。外部からウイルスを持ち込んで感染が拡大しないよう、体調のすぐれない方の同伴はご遠慮ください。感染拡大予防にご協力をお願いいたします。

### Q3: 立ち会い分娩はできますか？

夫またはパートナーの立ち会い分娩を行っております。分娩が近くなった段階でご本人から来院のご連絡をしていただきます。体調の悪い方の立ち合いはご遠慮いただいております。来院された際に感冒症状等があると判断した場合は、立ち合いをお断りさせていただくこともあります。分娩の進行状況などについてのご家族からのご連絡はお受けしておりません。ご本人と連絡をとり合い、ご確認をお願いいたします。尚、陣痛室、分娩室での通話はできませんのでメール等での連絡をお願いいたします。分娩後2時間まで一緒に過ごしていただけます。

### Q4: 入院中の面会はできますか？

産科の患者さんのご面会は14:00-16:00または19:00-21:00のどちらかの時間帯1回のみ、ご家族（夫またはパートナー・子供・両親に限る）4名までとさせていただきます。妊婦さんやご家族の方にはご不便をおかけしますが、感染拡大予防にご協力をお願いいたします。

上記のQ&Aは2024年12月23日現在の情報をもとに作成されたものです。  
以下のWEBサイトの情報をもとに作成しています。  
新型コロナウイルスに関する情報は、世界的に日々更新されていきます。  
最新の情報や、詳しくお知りになりたい方は、以下をご覧ください。

日本産科婦人科学会ホームページ

[http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content\\_id=10](http://www.jsog.or.jp/modules/jsogpolicy/index.php?content_id=10)

厚生労働省ホームページ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/dengue\\_fever\\_qa\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html)

日本ラクテーションコンサルタント学会ホームページ

[https://jalc-net.jp/covid19\\_jalc.html](https://jalc-net.jp/covid19_jalc.html)